

平成28年6月21日 会頭記者会見 発言要旨

時事の話題

■景況について

EU 離脱を巡るイギリスの国民投票が 23 日に迫り、市場の緊張感が高まっている。政府・日銀にはあらゆる場合を想定して緊密に協議いただき、市場の安定に向けた対応をお願いしたい。

参議院選挙が公示を迎えるが、安倍政権がこれまで推し進めたアベノミクスを国民がどう判断するのか、その是非を問う選挙になる。経済界としては、成長戦略の継続のためにも、安定した政権の実現を期待している。

足元の景況について、現在取りまとめているこの 4~6 月期の経営経済動向調査の速報を申し上げたい。国内景気は大きく落ち込んだ 1~3 月期に続いて、企業規模を問わず全ての業種で BSI 値がマイナスとなった。自社業況についても、運輸・倉庫業とサービス業が上昇を示しながらも、その他の業種において下降が続き、全体として BSI 値はマイナスとなっており、停滞感が漂っている。賃金動向については、人材の確保や定着を目的とした賃上げが一定数表れており、労働力維持に対する意識の高まりが伺える内容となった。

本所では、「中小企業における人材確保の状況等について」アンケートを実施した。経団連による採用選考時期が 8 月から 6 月に前倒しされた影響については、選考スケジュールが過密化し、同業他社との面接日程のバッティングや業務が短期間に集中したことによる従業員への負担が増える等の影響があったことが伺えるが、アンケートの実施時期が 5 月から 6 月であったこともあり、影響については不明と回答した企業も多く、評価については今後も追跡調査の必要を感じている。また、図を見てわかるように、直近の 3 年間で 31% もの企業が人材を確保することができず、そのうち 14% が募集したにも関わらず応募がなかったと回答しており、大企業と違い、中小企業の人材確保が大変厳しいことが伺える。中小企業の人材確保において「人材獲得のためのノウハウ不足」、「自社の知名度の不足」といった課題が挙げられているが、本所としても今年度から雇用担当を新設して、そういった課題克服のための支援の充実に努めていくとともに、中小企業の存在や良さを知ってもらう取り組みを今後一層進め、会議所への期待が大きい「情報発信の強化」に積極的に取り組んでいく。

京都商工会議所の動き

■京都知恵産業フェアについて

京都知恵産業フェアは、京都経済のけん引役となる知恵ビジネスの成長支援を行うため、京都産業育成コンソーシアムのもと、本所をはじめ、京都府、京都市などと共同して、昨年 11 月に初めて実施した首都圏販路開拓支援事業である。今年度は、質の高い商談の機会を創出することはもちろんであるが、新しい価値を提供する「知恵ビジネス」のブランドを、首都圏のバイヤー等に対して訴求する戦略的な事業と位置付けている。出展者の選定にあたっては、技術・伝統・デザイン・感性など、京都ならではの知恵を評価するとともに、首都圏市場に対するインパクトなど、「知恵ビジネス」のブランド価値を高める牽引性も新たな選定基準として重視していきたい。来年 2 月の開催までに、商談成果を高めるためのバイヤー訪問や、商品開発、広報、効果的な展示方法などの支援を通して、中小企業の販路開拓をしっかりとバックアップしたいと考えている。6 月 30 日には本所にて出展者募集に関する説明会を開催するので、報道各社におかれては広報協力をお願いしたい。

■京都ミーティング・インセンティブガイドブックの発行について

本所観光産業特別委員会では、平成26年度より京都MICE小委員会を発足し、MICEの中でも、特に企業が実施するM（企業ミーティング・研修）やI（インセンティブ旅行）の経済効果に着目し、その実態を把握するため、会員事業所を中心としたアンケート調査や、実際に実施している企業や宿泊・会議施設等関係者による懇談会などを開催してきた。アンケート調査では約7割近くの企業が京都においてMやIの実績がないと回答していることから、まずはこうした企業に対する啓発活動や潜在的需要の掘り起こしを図るため、このガイドブックを作成した。

今後は、本所の支店長会はもとより、首都圏での京都関連イベント等で広く配布するほか、啓発セミナーなども開催し、MIを京都で開催するための動機づくりに努めたい。

7月11日から開催する全国商工会議所観光振興大会においても、このガイドブックを配布してPRするつもりだ。観光振興大会については、現在1300名を超えるお申込みを頂戴している。観光振興を通じた地方創生について、全国の商工会議所で考えを共有する機会にしたいと思っている。当日は取材にぜひお運びいただきたい。

■記者からの質問事項

■中小企業の人材確保について、京都商工会議所としてどのように後押ししていくのか。

情報発信を強化し、中小企業の見える化を図っていききたい。本所としてはこれまで合同企業説明会などを開催してきたが、今後は京都の中小企業の良さを学生にまで届ける取り組みに力を注ぐつもりだ。いろいろな形が考えられるが、例えば大学の就職担当者に中小企業の現場を訪問する視察会も始めるなど、多彩な取り組みをしている。中小企業の良さを学生の皆さんに理解していただける場を増やしていきたい。

■参議院選挙ではどういう論戦を期待したいか。

各党の公約を見ると、鮮明に映るのが経済政策の違いだ。自民党はアベノミクスの加速を訴える一方、民進党は「分配と成長の両立」を打ち出し「アベノミクスの失敗」を強調している。民主党政権時代の経済運営を踏まえ、民進党がどのように「分配と成長の両立」を打ち出すか、よく見る必要がある。いずれにせよ、政策による論戦を行い、有権者が納得して投票に向かうような選挙戦が行われることを期待したい。

■リニア中央新幹線について、門川市長が「関西文化学術研究都市で北陸新幹線とつながれば、全体としてプラスになる」と京都市を通るルート以外について理解を示されたが、立石会頭の考えを伺いたい。

まず、大阪までの早期開業を目指す上で、今回示された延伸前倒しの方針を歓迎している。引き続きオール関西で一致して、大阪までの同時開業を目指していきたい。

門川市長のルートに対する考え方はひとつの選択肢として検討されることになるだろう。ルートについては、早くから最悪でも京都府内・府域を通るルートが好ましいと申し上げており、今後のルート選定のひとつの調査対象としてもらいたい。いずれにせよ、関西国際空港や北陸新幹線への接続など、関西全体の交通体系を見据えた上で、さまざまな角度から最も好ましいルートを選定すれば良いと考えている。

■リニア中央新幹線のルートについて、具体的にどこを通るのが経済的に良いとお考えか。

オール京都としては当初から京都駅ルートを主張してきたが、もうひとつの選択肢として市長の発言があったと受け止めている。まだ、経済界には正式な話は伝わっていないが、おそら

く、知事も京都府下、京都府全体の効果を踏まえれば、そういう考え方をお持ちだと推察する。経済界としてはこれまでより、京都府域を通るルート、言い換えれば、学研都市を通るルートをひとつの選択肢として考えており、選定にあたっては総合的にぜひ検討していただきたい。

■京都で OECD の租税委員会が 6 月末に開催されるが、パナマ文書問題の租税回避についての考えを伺いたい。

課税逃れの問題解決に向けて、貴重な会議になるのではないか。特に見解は持ち合わせていないが、企業の自由な取引の枠を越えるものについては排除し、全体として正しい方向へ導いていければと考えている。

以 上

アンケート「中小企業における人材確保の状況等について」 ＜概要報告＞

・趣 旨

企業の業績は改善傾向にあるが、質・量の両面で十分な人材の確保ができていない状況であり、京都でも中小企業、小規模企業では同様の状況であると考えられる。

については、本所会員企業の人材確保の現状を把握するとともに中小企業の情報を積極的に発信し、学校関係者や学生等とのマッチングの事業を進めること、また、中小企業の人材確保に係る支援についての要望を聴取することを目的とし、アンケートを実施した。

・調査内容

- ・新卒（第二新卒含む）採用状況、中途採用状況、採用意欲、採用活動等について
- ・京都商工会議所が行う人材確保に関する支援についての要望及び事業への協力の意向について

- ・調査対象 京都商工会議所会員企業（業種の制限なし）
京都市内本社 従業員数50名以上の企業 620社

- ・調査期間 平成28年5月13日（金）～6月3日（金）

- ・調査方法 FAXによる調査票の発送・回収

- ・回答企業数 130社（回答率20%）

・概 要

企業の採用意欲と人材確保の手段について

過去3年間の新卒採用者数及び中途採用者数の推移を見たところ、新卒採用者数は一定の数字で推移しているが、中途採用者数は増加している。このことより企業の採用意欲は増加しているが、新卒採用者については、「応募なし」「内定辞退」等の理由により採用が出来ず、中途採用者で確保していることが読み取れる。なお、人材確保の手段は、1位「ハローワーク」2位「自社のホームページでの告知」3位「合同企業説明会」という結果となっている。

経団連による採用選考時期の8月から6月への前倒しの影響について

「影響あり」と答えた企業は、就活日程の変化による学生の動向や他社の人材確保の動向に変化を感じ、新卒採用について漠然とした不安感を抱いている模様である。また、選考スケジュールが過密化したと回答する企業も多く、同業他社との説明会及び面接日程のバッティング、業務が短期間に集中したことによる従業員への負担が増える等、企業現場に混乱が生じたことがうかがえる。

また、アンケートを5月から6月にかけて実施したこともあり、影響については「わからない」が43%を占め、「影響なし」が32%、「影響あり」は23%となっている。

人材確保に関する課題と関心及び京都商工会議所に求める支援について

多くの企業では人材確保の課題として、1位「労働条件」、2位「人材獲得のためのノウハウ不足」、3位「自社の知名度」があり、関心のあるものとしては、「情報発信の強化」が2位に挙げられている。

なお、京都商工会議所に求める支援としては、1位「合同企業説明会」が大多数を占め、2位「学内での企業説明会」3位「採用担当者のための研修」となっている。

中小企業における 人材確保の状況等について

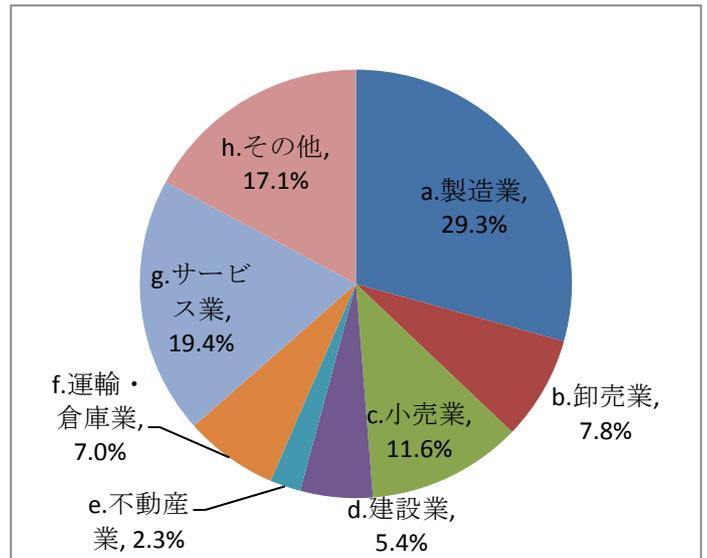
平成28年6月
京都商工会議所

調査概要

- 1 調査期間：平成28年5月13日(金)～6月3日(金)
- 2 調査対象：京都商工会議所会員 京都市内本社 従業員数50名以上 620社
- 3 調査方法：FAXによる調査票の発送・回収
- 4 回答数：130社 (回答率 20%)
- 5 回答企業プロフィール

① 業種

業種	社数	%
a. 製造業	39	29.3
b. 卸売業	10	7.8
c. 小売業	15	11.6
d. 建設業	7	5.4
e. 不動産業	3	2.3
f. 運輸・倉庫業	9	7.0
g. サービス業	25	19.4
h. その他	22	17.1

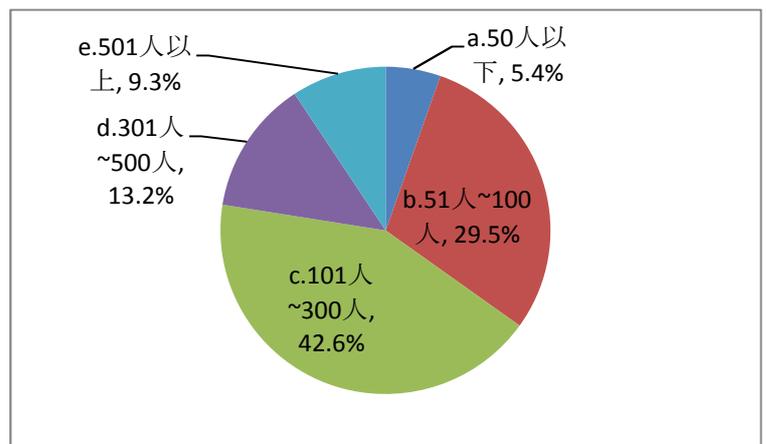


回答のあった業種は、製造業、サービス業、小売業、卸売業、運輸・倉庫業、建設業、不動産業の順となっている。

その他には、教育、情報サービス、広告デザイン、出版、病院、医療・介護、金融、文化団体などが含まれる。

② 従業員数

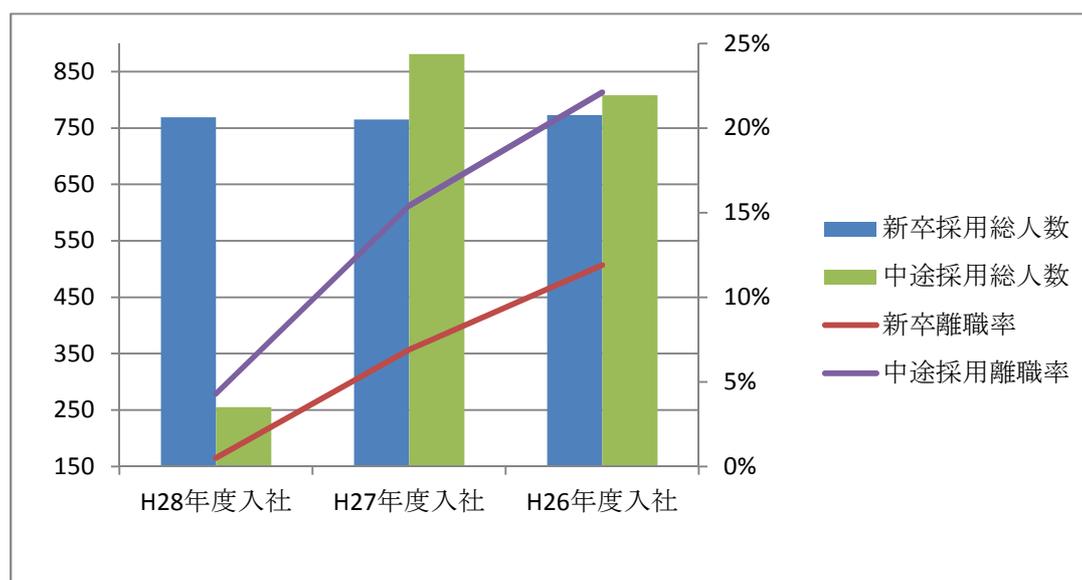
区分	社数	%
a. 50人以下	7	5.4
b. 51人～100人	38	29.5
c. 101人～300人	56	42.6
d. 301人～500人	17	13.2
e. 501人以上	12	9.3



従業員数50人以上300人以下が約70%を占める。

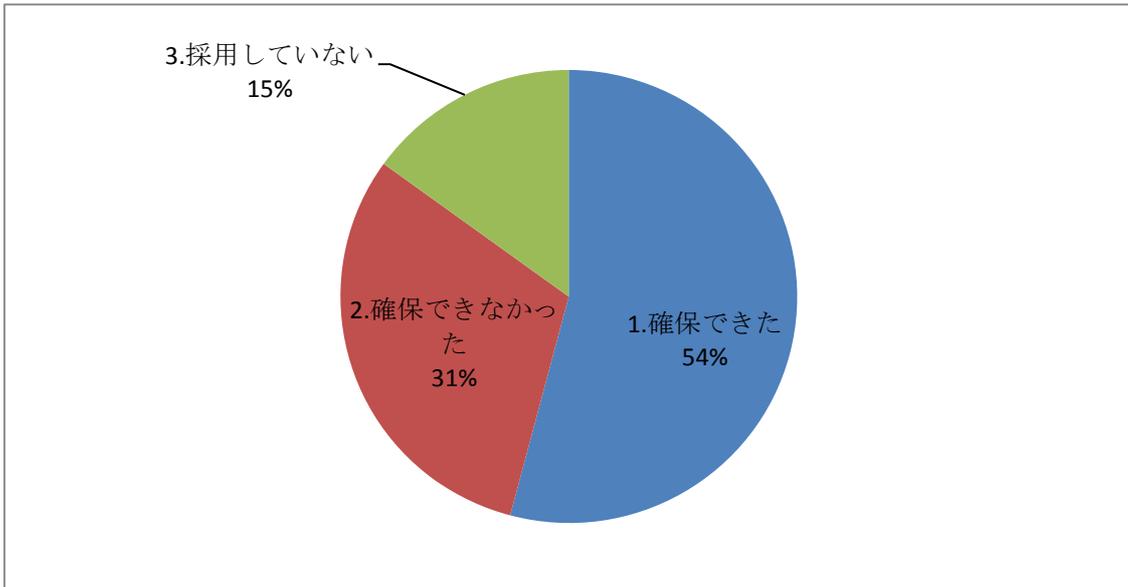
最近3年間に正社員として採用した新卒採用者(卒業後3年以内の者を含む)及び中途採用者の在職状況

年度	平成28年度		平成27年度		平成26年度	
(新卒採用)						
区分	採用者数	在職者数	採用者数	在職者数	採用者数	在職者数
人数	769	765	765	712	773	681
離職率	0.5%		6.9%		11.9%	
(中途採用)						
区分	採用者数	在職者数	採用者数	在職者数	採用者数	在職者数
人数	255	244	881	745	808	629
離職率	4.3%		15.4%		22.1%	



平成26年～28年度の新卒採用者数は、おおよそ800名、離職率は1割程度。
平成27・28年度中途採用者数は800～900名程度、離職率は2割程度。

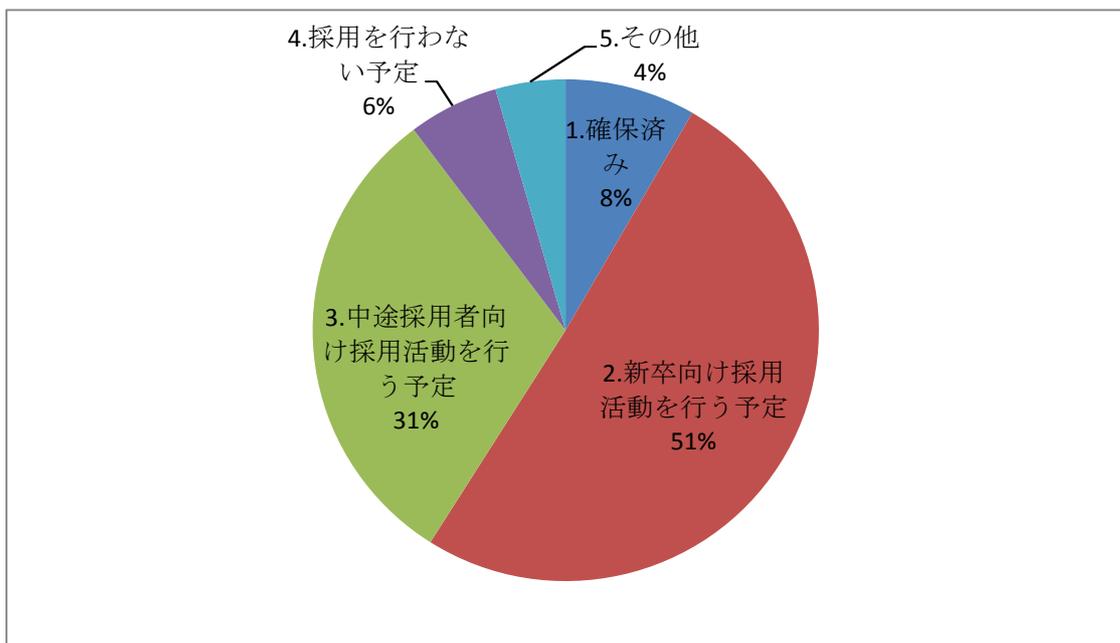
直近3年間の新卒者(卒業後3年以内の者を含む)の人材確保状況について



2. 確保できなかった(31%)の内訳

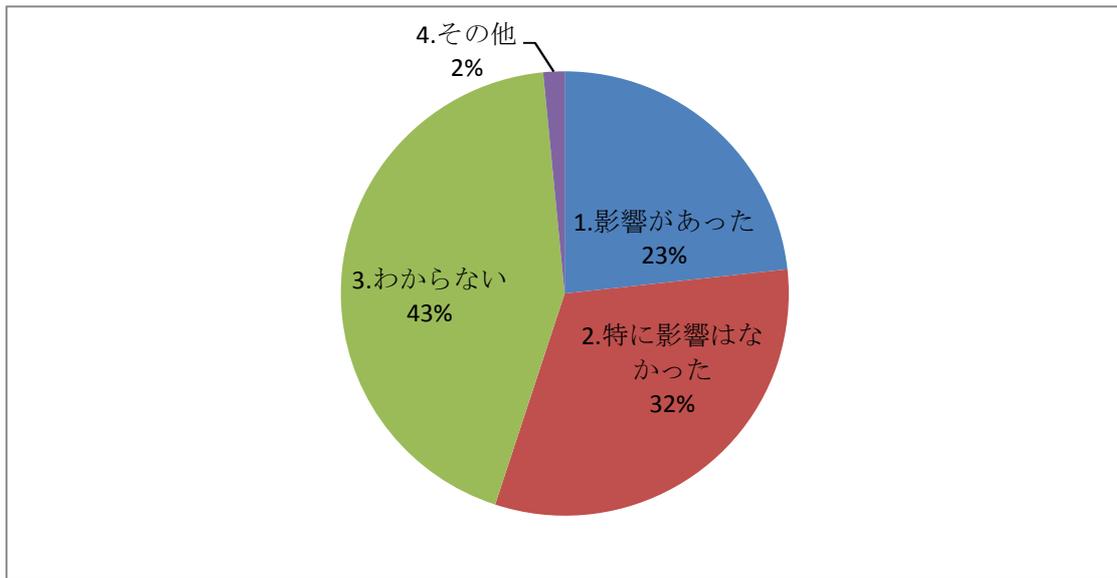
応募無し	14%
内定辞退	9%
応募はあったが採用基準に至る人材無し	8%

平成28年度の採用活動の状況について



平成28年度の人材確保については、約8割が採用活動を行う予定と答えている。全体の約5割が新卒向け採用活動を予定している。

経団連の採用スケジュール選考開始時期の8月から6月への前倒しの影響について



1. 影響があった(具体例)

学生動向

- ・学生の動き方の変化
- ・応募者の減少

スケジュールの過密化

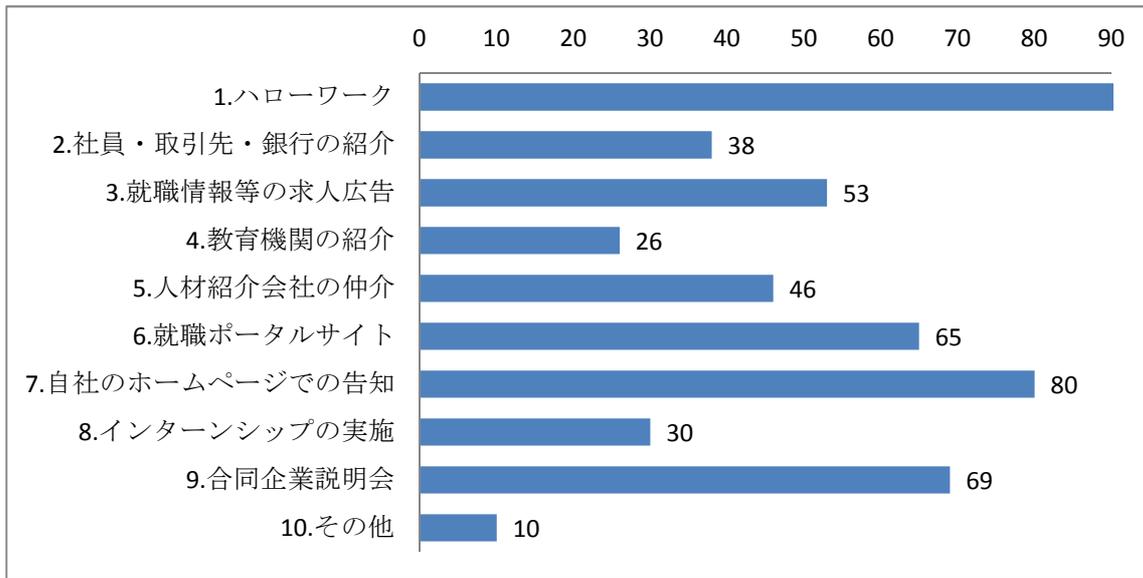
- ・業務が短期間に集中した
(新入社員受け入れ時期と重なるため人手不足になる)
- ・短期集中のため、大手との説明会や同業他社との選考などがバッティングした
(3～4月に企業説明会が集中したため学生が集まらない)
- ・情報解禁から採用活動解禁までの期間が短いため、志望動機や企業研究が不足している学生が多い
- ・採用活動の早期化、採用スケジュールの見直し及び前倒し
(説明会・面接の早期実施、選考プロセスの割愛など)

人材採用戦略

- ・毎年方針が変わり学生の動きが読み辛い
- ・他社の動向がわからないため出遅れた気がする
- ・6月以前に採用を実施している企業もあり、混乱を招いているように感じている

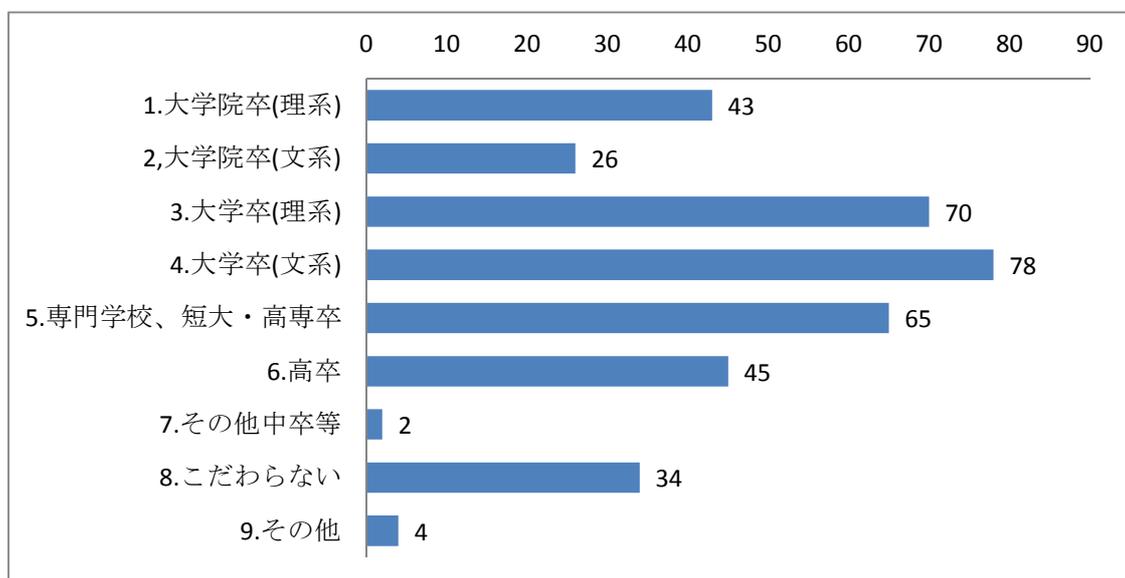
また、平成27年度における経団連の採用スケジュール選考開始時期変更(採用活動解禁日の4月から8月への後ろ倒し)の影響として、「内定辞退の多発」を具体例として挙げる企業もあった。

採用している人材確保手段について



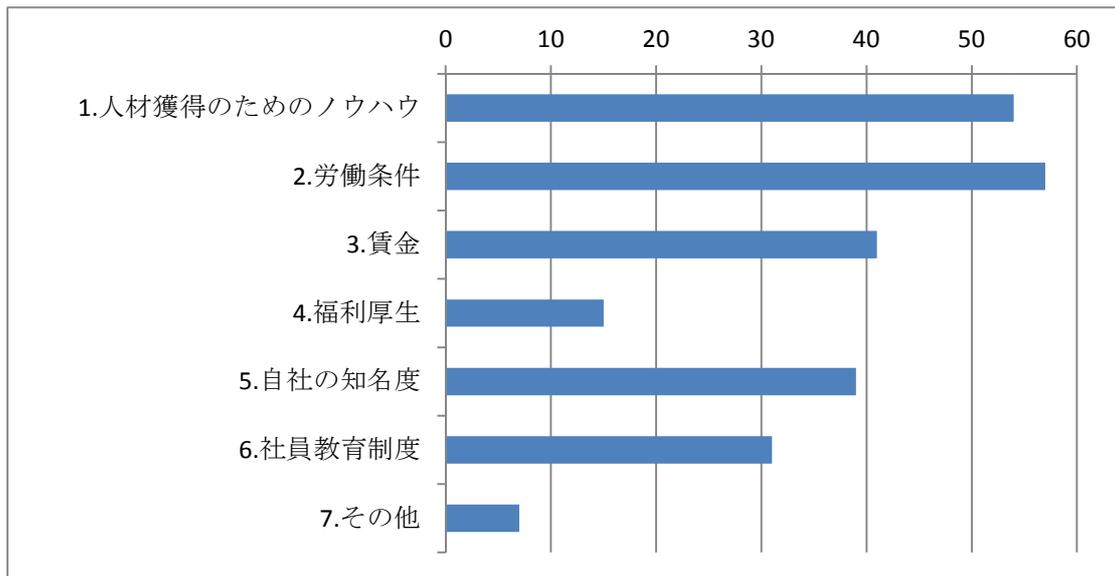
ハローワークが最も多くの企業で採用されている人材確保の手段であり、次いで自社のホームページでの告知、合同企業説明会を通じて人材確保を行っている。インターンシップを人材確保活動に取り入れている企業は他の手段に比べ少ない結果となった。

求職者に求める最終学歴について



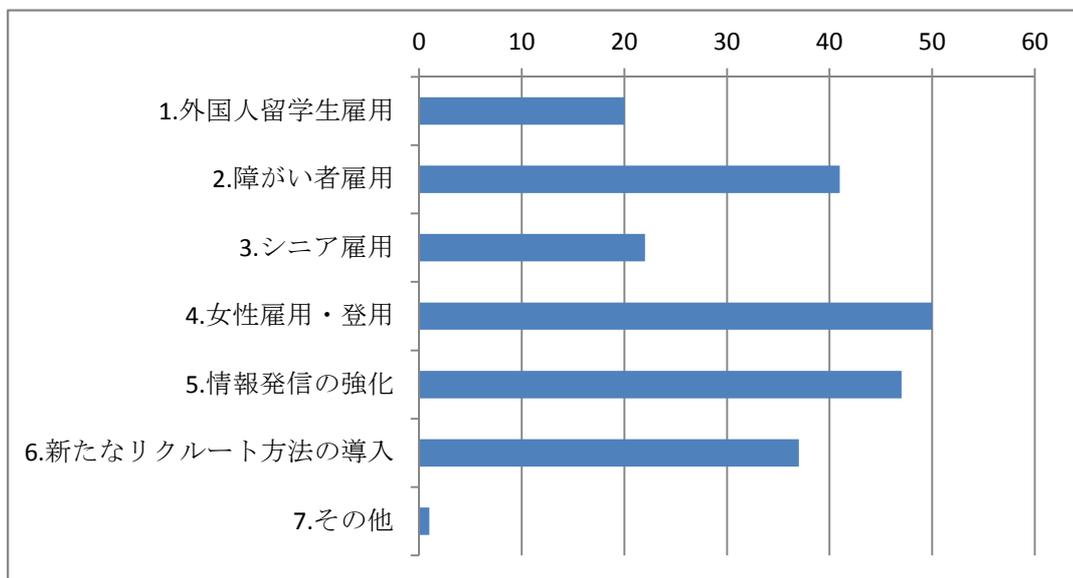
理系・文系を問わず、大学卒が一番求められている結果となった。

人材確保における課題と考えていること



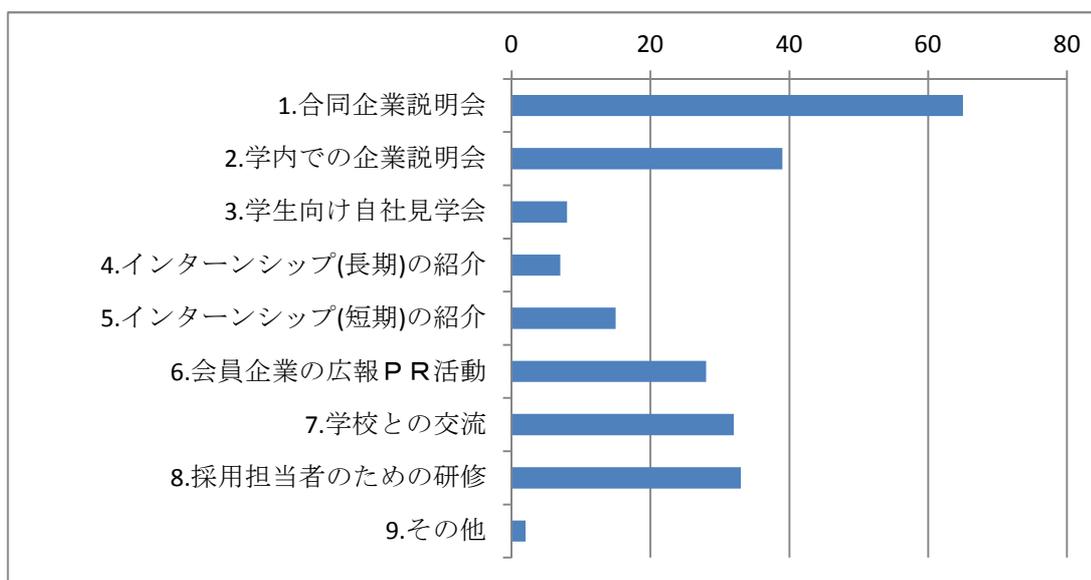
人材確保の課題として、労働条件や人材獲得のノウハウ不足を課題点としている企業が多く見られた。

人材確保について関心があるもの



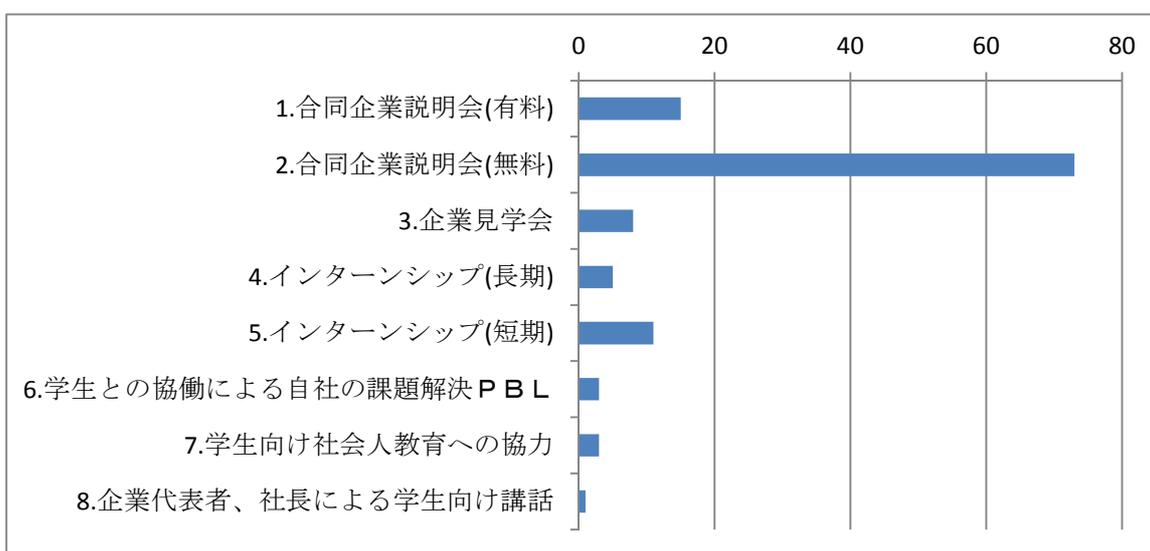
「女性雇用・登用」が最も関心が高く、次いで、「情報発信の強化」、「障がい者雇用」、「新たなリクルート方法の導入」と続く結果となった。

京都商工会議所に求める支援



京都商工会議所に求める支援については、第1位「合同企業説明会」、第2位「学内での企業説明会」、以下「採用担当者のための研修」「学校との交流」「会員企業の広報 PR 活動」と続く。その他には「特になし」を含む。

参加を希望する事業



参加を希望する事業は、「合同企業説明会(無料)」が圧倒的に多い。次いで、「合同企業説明会(有料)」、「インターンシップ(短期)」の希望が多く、長期のインターンシップについては希望が少ない。

その他、採用活動等に関して意見等

- 国、京都府、京都市の事業を一つに統一してほしい
- 学生の企業研究期間が短いと知名度のある大企業に目が向きがちである。企業PRとなる就職ナビサイトの解禁日は早めにして欲しい。
- 採用人数少数のため求職者が多くても少なくても困る。内定辞退が一番困る。
- 定期採用を行っていない。
- 商工会議所も中小企業応援として採用活動支援を重点として欲しい。
- 大手企業内定に伴う内定辞退防止策の事例を紹介してほしい。

(参考)

京都の大学における就職を取り巻く状況について（ヒアリング調査）

京都商工会議所 会員部雇用担当

- ・ヒアリング期間 平成28年5月19日～6月10日
- ・ヒアリング先 京都市内の18大学 キャリア支援担当、就職担当等

① 平成28年4月採用の就職状況・特徴について

（京都の平均就職率94.9%を超える就職率の大学が大多数）

- ・大手企業の8月の選考活動解禁前から水面下での動きが見られた。
- ・内定数が多く、これまでなら手の届かない企業への就職も見られた。
- ・大手企業同士で新卒者の取り合いがあり、秋になっても募集が続いたことで、就職活動が長期化した。
- ・中堅中小企業が早くから内定を出すため、大企業の内定と逆転が起こり、オワハラ問題、内定辞退に悩む学生の問題が発生した。

② 平成28年度スケジュール変更（8月から6月へ）の影響について

- ・昨年より早く内定報告があり、内定数も多い。
- ・大手、中小が同時に採用活動を行い選考スケジュールが過密化し、希望する企業へ応募できない学生がいた。
- ・就職活動期間が短期となり、準備不足のまま就職活動を始める学生が多い。

③ 大学の取り組み

- ・早期から就職活動に向けて準備をするようセミナー等を開催し、インターンシップ（正規のものだけでなく、ワンデーなども含む）を推奨している。
- ・保護者向けのガイダンス、セミナーを実施している。
- ・LO活、UIJターンの動きがあるが、大学としては対応が難しい。

④ 京都企業への就職について

- ・学生の出身地が、京都、大阪を中心に近畿圏が主な地域であることから自宅から通えるところ、京都での就職を希望する学生も多い。
- ・京都企業への就職について重視している。
- ・京都の中小企業の情報把握できず、学生が企業を知る機会が少ない。

⑤ 京都商工会議所へ求める支援・連携について

- ・インターンシップの受入先や京都優良企業の情報提供してほしい。
- ・学生に推薦できる求人票を出すよう企業へ啓発してほしい。
- ・京都の中小企業の情報冊子を発行してほしい。
- ・学内合説の企業募集に協力してほしい。

⑥ その他（芸術系大学の状況）

- ・対象とする企業や業種は専門的となるが、就職活動状況は同様の傾向にある。
- ・クリエイティブな分野、デザイン関係にニーズがある一般企業の情報があれば提供してほしいとの要望あり。

「京都知恵産業フェア2017」の実施について

京都知恵産業フェア実行委員会
(事務局：京都産業育成コンソーシアム内)

1. 目的

知恵産業に意欲的に取り組む京都企業的首都圏販路開拓支援事業として、昨年度に引き続き、オール京都で「京都知恵産業フェア2017」を実施し、「知恵産業」の振興、「京都ブランド」の向上とともに、次代を担う京都産業の育成を図る。

ねらい

出展企業の販路開拓支援を通じて、「知恵産業」「京都ブランド」の更なる価値を高め、京都産業全体への波及を目指す。そのため、京都ならではの技術や素材、知恵を活用した商材を集めるとともに、出展企業への支援を積極的に展開し、戦略的な展示商談会にする。

2. 内容

首都圏を中心としたバイヤー(来場見込900名)に対し、知恵を活用した商品の販路拡大を図る展示商談会

3. 開催日

平成29年2月23日(木)～2月24日(金)

4. 会場

渋谷ヒカリエ(9階) Hikarie Hall(東京都渋谷区渋谷2-21-1)

5. 主催

京都知恵産業フェア実行委員会
(実行委員会構成メンバー)

- | | |
|-----|--|
| 委員長 | 京都商工会議所 常務理事 |
| 委員 | 京都府商工労働観光部長、京都市産業戦略監、公益社団法人京都工業会専務理事
地方独立行政法人京都市産業技術研究所副理事長
京都産業育成コンソーシアム幹事・事務局長 |
| 監事 | 公益財団法人京都産業21専務理事、公益財団法人京都高度技術研究所専務理事 |

<出展事業者募集について>

1. 募集概要

(1) 募集対象

京都の素材や技術、知恵、自社の強みを活用することで、現代ニーズに沿った付加価値の高い、商品の開発とともに、首都圏での販路開拓に意欲的に取り組まれている京都の中小企業

(2) 募集企業数(出展にあたっては選考があります)

100社程度

(3) 募集分野

京都ならではの技術や素材、知恵を活用したライフスタイル関連商品(春夏向け商品を想定)
<ファッション、生活雑貨、ギフト商品、新感覚のスイーツ・フード、ビューティ&コスメ、アート・文化、エンターテインメント、体験型観光サービス等>

(4) 募集する商品のコンセプト

- ・京都ならではの技術、伝統、デザイン、感性、物語性を感じられる商品
- ・首都圏のバイヤーや市場ニーズに対する適合性や話題性のある商品
- ・市場に出回っていない、独創性に富んだ商品や技術を活かして新たに開発した商品 など

2. 募集期間

平成28年6月22日(水)～7月21日(木)午後5時受付分まで<時間厳守>

3. 応募方法

京都産業育成コンソーシアムHPより、「京都知恵産業フェア2017応募申請書」をダウンロードし、必要事項を記入の上、期日までに持参またはE-mail添付にて、京都知恵産業フェア実行委員会事務局まで提出。

(郵送・FAXでは受付いたしません)

京都産業育成コンソーシアムHP <http://www.kyoto-conso.jp/>

4. 申請書提出先

京都知恵産業フェア実行委員会事務局(京都産業育成コンソーシアム内)

京都市中京区烏丸夷川上ル 京都商工会議所ビル6階

TEL:075-211-1880 E-mail:kyoto-chiefair@kyo.or.jp

<出展事業者募集説明会の開催概要>

1. 日時 6月30日(木) 15時～16時30分(受付は14時30分～)
2. 場所 京都商工会議所(2階) 教室
3. 内容 京都知恵産業フェア2017事業概要説明及び出展事業者募集に関する説明ほか
4. 定員 160名(先着順/定員になり次第締め切ります)
5. 申込み 京都産業育成コンソーシアムHP内の申込フォーム、FAX、メールのいずれか

申込み・問合せ先

京都知恵産業フェア実行委員会事務局(京都産業育成コンソーシアム内)

TEL:075-211-1880 FAX:075-211-1881 E-mail:kyoto-chiefair@kyo.or.jp

京都産業育成コンソーシアムHP <http://www.kyoto-conso.jp/>

【参考】平成27年度実施 京都知恵産業フェア2015

○日時 平成27年11月5日(木)11:00～19:00 (17:00～ レセプション)

6日(金)10:00～17:00

○会場 JPタワー ホール&カンファレンス 4F ホール

○出展企業数 111社

○来場数 890名(首都圏のバイヤー、メディア、設計事務所、企業関係者)

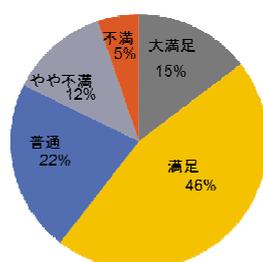


小田急百貨店、京急百貨店、京王百貨店、東急百貨店、大丸松坂屋百貨店、三越伊勢丹、そごう西武、高島屋、明治屋、遠鉄百貨店、日本ホテル、ホテルオークラ、森トラスト・リゾーツ、エトワール海渡、オンワード商事、三井食品、日清商事、マルショウエンドウ、伊藤忠食品、丸井、東急ハンズ、ロフト、日清紡ペーパープロダクト、大成建設、国際ディスプレイ工業、NHK出版、カタログハウス、ディノス・セール、JTBパブリッシング、音楽之友社、芸艸堂、カルチュア・コンビニエンス・クラブ(TSUTAYA)、Lives Inc.、ぐるなび、小学館、ハースト婦人画報社、日本郵便(中国)国際物流有限公司、コムサ、ワールド、アマハウス、全日空商事など(順不同・敬称略)

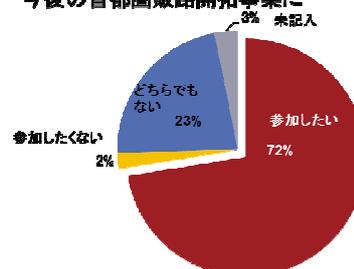
○商談状況(有効回答率90%/H27年11月末現在)

名刺交換件数 1社平均30社 / 商談件数 1社平均10件 / 商談見込み件数 約240件

京都知恵産業フェアに出展して



今後の首都圏販路開拓事業に





京都知恵産業フェア2017

出展事業者募集要項

出展募集 平成28年6月22日(水)～平成28年7月21日(木)

<主催>

京都知恵産業フェア実行委員会

京都産業育成コンソーシアム、京都府、京都市、京都商工会議所、京都工業会
京都産業21、京都高度技術研究所、京都市産業技術研究所

<趣旨>

京都には、長い年月をかけて磨き上げられてきた技術や素材、ノウハウに、現代的な創意工夫を取り込んだ独創的なビジネスがたくさんあります。

オール京都体制で育成を支援している知恵産業は、京都の伝統や文化を背景に、商品やサービスの獨創性、先駆性、高品質性など知恵の活用をその特徴としますが、行政や経済団体による知恵の認証・評価を受けられた企業が140社を超えるなど、そのすそ野は年々拡大しています。

これら知恵産業が、京都の特性や企業の強みを活かしながら、多様な産業群として成長していくためには、企業の発展段階に合わせた、成長支援に関する各種施策の展開が必要であり、とりわけ、優れた商品やサービスの開発により、販路を開拓し顧客を創造する活動は、企業の継続・発展にとって極めて重要な取り組みです。

そこで、世界中の商品が集まる消費・流通の一大中心地を舞台に、ライフスタイル関連分野での京都の獨創性、新規性、文化力を併せ持つ高付加価値商品を、京都の総力をあげてバイヤーに売り込み、「知恵産業」「京都ブランド」の価値を高めて、京都産業の発展へ繋げていきたいと考えております。

効果のある展示商談会にしていきたいと考えていますので、皆様のご応募を心よりお待ちしております。

<本展示商談会の特徴>

趣向を凝らした展示構成で、商品の訴求力を高めるとともに、京都府・京都市及び京都の産業支援機関のネットワークと情報発信により、数多くの首都圏のバイヤー、メディア、企業関係者の来場を図ります。

出展者とバイヤーは会場内において常時スムーズな商談が可能です。

また、京都の行政・産業支援機関の各種経営支援事業と連動させながら、出展者の販路開拓の効果を高めます。

出展者選定について

<選定について>

選定委員会にて選定。選定結果は、8月中旬に文書にて通知します。

<選定基準>

本事業の趣旨や募集内容に合致し、次の基準を満たしていること。

- ①知恵の活用: 京都ならではの技術、伝統、デザイン、感性、物語性や獨創性など
- ②マーケットへの対応力: 市場でのニーズ、適合性や話題性、商材の供給能力・体制及び安全性(PL法等)
- ③牽引力: 「知恵産業」「京都ブランド」の価値を高め、京都産業全体への波及と底上げが期待できる商品

など

4

申請方法

<申請方法> http://www.kyoto-conso.jp/kyoto_chiefair/

下記①②③を持参もしくはE-mailでお送りください。※郵送・FAXでの受付は致しません。

- ①応募申請書 (上記URLから応募申請書をダウンロード)
- ②出展希望の商品や商品ストーリーが分かる画像データ 2~4点程度
- ③【任意提出】出展希望の商品や商品ストーリーが分かるパンフレット(PDF可)

<締 切>

平成28年7月21日(木)17時 ※必着

<お問い合わせ・提出先>

京都知恵産業フェア実行委員会事務局(京都産業育成コンソーシアム内)
京都市中京区烏丸通夷川上ル 京都商工会議所ビル6F TEL 075-211-1880

提出先メール: kyoto-chiefair@kyo.or.jp

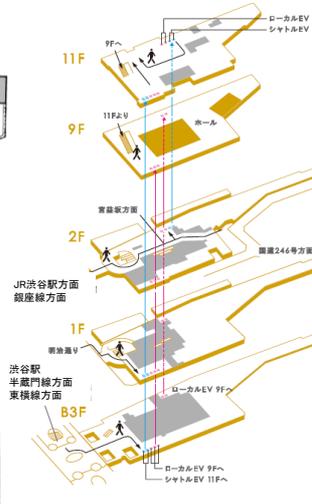
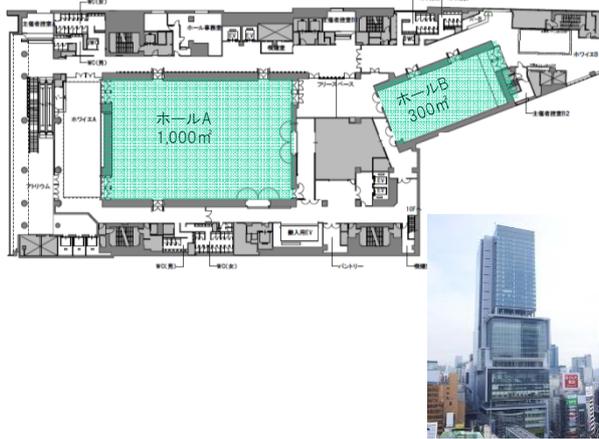
- ※件名に「京都知恵産業フェア2017 応募について[企業名: **]」と明記してください。
- ※上記アドレスより、受信完了メールをお送りしますので受信できるよう設定をお願いします。

5

会場アクセス

<会場>

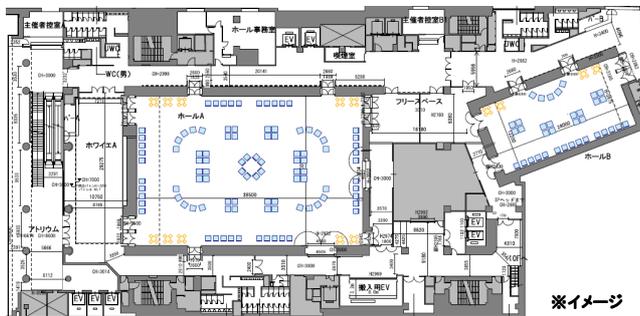
渋谷ヒカリエ 9階 Hikarie Hall
(東京都渋谷区渋谷2-21-1) ※渋谷駅直結



会場構成

100社程度の展示台、展示ステージと、商談席を併設することで、具体的な商談につながる場を創出します。

小間割りやゾーニングについては、出展商材やターゲットを考慮して企画しますので、主催者にご一任いただきます。



※イメージ

※写真は前回のものです。

小間の基本設備

<基本小間タイプ>

900mm × 900mm

ステージタイプ・展示台タイプなど基本小間のタイプから、貴社の商材に適したものをご選択いただけます。

※詳細は、出展者を対象に開催する運営説明会でご案内します。
※商談環境を維持するため、各小間での音声・音楽等の使用は原則お断りします。
※安全への配慮のため、出展者による展示台へのポスターやパネル設置はお断りします。

<経費について>

- ・出展料3万円(税抜)は、基本小間代(1小間)が含まれています。
- ・上記以外の経費(レンタル備品、電気工事、展示品の搬出入や制作にかかる費用、旅費、宿泊費、運送費など)は、すべて自己負担となります。

<レンタル備品・電気工事について>

- ・費用等の詳細については、出展者を対象に開催する運営説明会でご案内します。
- ・レンタル備品、電源工事代については、会期後に、会場施工委託会社から請求します。

<その他>

- ・出展商材により、2小間が必要な場合はご相談ください。
(2小間の場合は、プラス3万円(税抜)となります)

広報計画

首都圏及び全国のバイヤーやメディア等に来場頂けるよう積極的な集客活動と情報発信を行います。

<ターゲット>

バイヤー・メーカー(首都圏を中心とした全国) / メディア(専門誌、雑誌、一般誌等)

<集客・広報活動>

- ・プレスリリース(記者会見、東京でのプレス、PRワイヤーなど、各種メディアへのプレスサービス活用)
- ・事務局によるバイヤー訪問
- ・バイヤー・メディアへのDM送付
- ・Webサイト・FB開設
- ・各種媒体誌への掲載依頼
- ・出展企業パンフレットの制作・配布



パンフレット



ホームページ

参考(京都知恵産業フェア2015より)

出展者支援

商談会での成果をより高めていただくため、商品開発、販路戦略のほか、バイヤーへの訴求力を高める展示方法や広報等に関するセミナーの開催をはじめ、経営相談、専門相談、販路開拓に向けたさまざまな支援をさせていただきますので、展示会へのご出展が初めての方も安心してご出展いただけます。ぜひ、ご活用ください。

主なスケジュール

※詳細なスケジュールは出展者説明会の際にお示します。

1	平成28年7月21日(木)	出展者募集 申請締切
2	平成28年8月中旬	出展者選考/決定通知(参加料請求)
3	平成28年8月31日(水)15時～	出展者運営説明会(展示商談会の当日運営など) 出展者交流会の開催
4	平成28年9月中旬～	出展者向けセミナーの開催(市場動向・商品開発・販路戦略等) 各種広報活動 (パンフレット配布、DM、マスコミ・プレス、webサイト公開、広告掲載など)
5	平成29年1月中旬	出展者運営説明会 (バイヤー訪問報告・展示商談会の当日運営など)
6	平成29年2月22日(水)17時～	設営
7	平成29年2月23日(木)・24日(金)	京都知恵産業フェア 2017 展示商談会

京都知恵産業フェア2017

10

注意事項①

主催者でイベント保険に加入しますが、出展者の責任で生じたトラブルや展示スペースで生じた事故等は補償外になります。各出展者の判断・責任で、イベント保険に加入するとともに、事故が生じた際は、自己責任でご対応をお願いします。

<キャンセルについて>

出展決定後に申し込みをキャンセルすることはできません。

<搬入・設営/搬出・撤去について>

搬入・設営/搬出・撤去はすべて出展者に行ってください。展示品の設営は必ず前日及び当日開場前の指定時刻(詳細は出展者運営説明会で発表)までに完了してください。なお、当日の展示商談会開催中の搬入・設営作業はできません。また、展示品の搬出・撤去作業は、2月24日の展示商談会終了後(17時以降)に行ってください。開催時間中の撤去・搬出作業は認められません。

<展示について>

- ・開催期間中の展示品の管理は出展者の責任において行ってください。展示品の損害、盗難、紛失、破損等について主催者は一切責任を負いません。夜間等の開催時間外は会場を施錠します。
- ・展示時間中は、ブースにて展示品についてご説明頂ける方を必ず手配願います。
- ・出展者が、他社の小間、運営設備または展示会場の設備及び人身等に損害を与えた場合、その補償は該当出展者の責任において行うものとし、主催者は一切責任を負いません。
- ・出展者は割り当てられた小間の全部又は一部を有償無償で第三者に譲渡、貸与もしくは交換することはできません。

京都知恵産業フェア2017

11

注意事項②

<食品の取り扱いについて>

- ・試食・試飲をされる場合、管理責任者及び管轄の保健所に運営・衛生上の観点から事前申請を行います。
ご希望の方は、応募の前に必ず事務局に提供商品並びに提供方法、衛生管理方法についてご連絡ください。
- ・会場において水道・火器の使用はできませんので、調理を伴う食品の試食・試飲はできません。

・会場となる商業施設には多数の飲食テナントが入居しています。万一、本展示商談会に起因する食中毒が発生した場合、すべての飲食テナントが営業停止となり、その間の休業補償と信用毀損に対する賠償を主催者に求められる可能性があります。食中毒を発生させた出展者には、主催者に請求された全部又は一部の賠償額を請求致しますのでご了承ください。

<危険物の持ち込みについて>

会場内への危険物の持ち込みを厳に禁止します。また、当会場内での火気(裸火)の使用を禁止します。

<その他>

- ・出展者運営説明会には、必ずご出席ください。また、効果的な展示方法や首都圏での商慣行などに関する情報を提供できる勉強会を案内する場合がありますので、併せてご参加いただけますようお願いいたします。
- ・主催者は、災害をはじめとした不可抗力により、会期の変更・開催の中止によって生じた出展者及び関係者の損害は補償しません。

お申し込みいただいた時点で、本出展募集の各項目についてすべて同意いただいたものとします。

【参考】平成27年度実施 B t o B 首都圏販路開拓事業

琳派400年記念 「京都知恵産業フェア2015 "New Style Selection"」

- ・日 時 平成27年11月5日(木)11:00～19:00 (17:00～ レセプション)
／6日(金)10:00～17:00
- ・会 場 JPタワー ホール&カンファレンス 4F ホール
- ・主 催 京都知恵産業フェア実行委員会
[京都産業育成コンソーシアム・京都府・京都市・京都商工会議所・(公社)京都工業会・
(公財)京都産業21・(地独)京都高度技術研究所]
- ・後 援 (独)中小企業基盤整備機構、日本商工会議所
- ・来場数 890名 (首都圏のバイヤー、メディア、設計事務所、企業関係者)



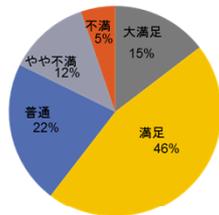
小田急百貨店、京急百貨店、京王百貨店、東急百貨店、大丸松坂屋百貨店、三越伊勢丹、そごう西武、高島屋、明治屋、遠鉄百貨店、日本ホテル、ホテルオーグラ、森トラスト・リゾーツ、エトワール海渡、オンワード商事、三井食品、日清商事、マルショウエンドウ、伊藤忠食品、丸井、東急ハンズ、ロフト、日清紡ペーパープロダクト、大成建設、国際ディスプレイ工業、NHK出版、カタログハウス、ディノス・セシール、JTBパブリッシング、音楽之友社、芸艸堂、カルチュア・コンビニエンス・クラブ(TSUTAYA)、Lives Inc.、ぐるなび、小学館、ハースト婦人画報社、日本郵便(中国)国際物流有限公司、コムサ、ワールド、アパハウス、全日空商事など(順不同・敬称略)



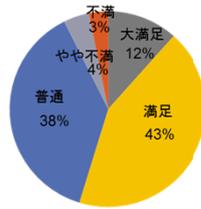
【参考】平成27年度実施 B t o B 首都圏販路開拓事業

・出展者アンケート結果(概要) ※平成27年11月現在

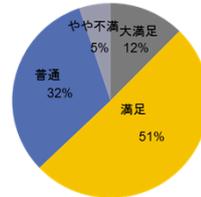
京都知恵産業フェアに出展して



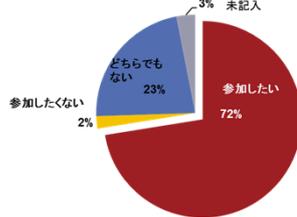
広報活動について



当日のオペレーション



今後の首都圏販路開拓事業に



商談状況 (有効回答率90%)

○名刺交換件数 1社平均30社 ○商談件数 1社平均10件
○商談見込件 約240件

問い合わせ・提出先

<応募に関するお問い合わせ/提出先>

京都知恵産業フェア実行委員会事務局 (京都産業育成コンソーシアム内)

http://www.kyoto-conso.jp/kyoto_chiefair/

京都市中京区烏丸通夷川上ル 京都商工会議所ビル6F

TEL:075-211-1880

提出先メール:kyoto-chiefair@kyo.or.jp

京都知恵産業フェア2017 出展事業者募集説明会のご案内

京都知恵産業フェア実行委員会では、京都の伝統や文化を背景に、独創性、先駆性、高品質性など知恵を活用した商品やサービスを、世界中の商品が集まる消費・流通の一大中心地、首都圏のバイヤーに売り込むべく、「京都知恵産業フェア2017」を実施するにあたり、出展事業者募集説明会を開催いたします。首都圏での販路開拓に取り組む多くの事業者様の積極的なご参加をお待ちしています。

- 【日 時】** 平成28年6月30日(木) 午後3時～4時30分
【場 所】 京都商工会議所(2階) 教室 <地下鉄丸太町駅6番出口すぐ>
【定 員】 160名 ※定員になり次第締め切ります **【参加費】** 無料
【内 容】 事業概要のご説明並びに出展事業者募集のご案内
【お申込み・お問合せ】

京都知恵産業フェア実行委員会(事務局:京都産業育成コンソーシアム内)

TEL: 075-211-1880 E-mail: kyoto-chiefair@kyo.or.jp

※お申し込みの際は、下記の参加申込書に必要事項をご記入のうえ、京都知恵産業フェア実行委員会事務局(FAX:075-211-1881)まで送信してください。メールでのお申し込みも承ります。

webでのお申込みは、http://www.kyoto-conso.jp/kyoto_chiefair/

【主催】 京都知恵産業フェア実行委員会(事務局:京都産業育成コンソーシアム内)

(京都産業育成コンソーシアム、京都府、京都市、京都商工会議所、(公社)京都工業会
(公財)京都産業21、(公財)京都高度技術研究所、(地独)京都市産業技術研究所)

京都知恵産業フェア2017 事業概要

※詳細は、HPをご覧ください

会期: 平成29年2月23日(木)・24日(金)

会場: 東京 渋谷ヒカリエ(9階) Hikarie Hall

京都知恵産業フェア2017 出展事業者募集説明会 参加申込書

FAX:075-211-1881

申込み締切日:平成28年6月29日(水)

京都知恵産業フェア実行委員会事務局 行

ふりがな 参加者氏名	所属(会社名等)・役職
所属所在地 〒	
E-mail	
TEL:	FAX:

※お申込みのうえ、直接会場にお越しください。参加証等は発行いたしません。定員超過の場合のみ、連絡させていただきます。
 ※ご記入いただいた個人情報は、本事業以外には使用いたしません。
 ※適正冷房中のため、軽装でお越しください。



充実した企業ミーティングや インセンティブトラベルを、 京都なら実現できます。

MICE（マイス）という言葉をご存知ですか？

MICEは *Meeting*（会議・研修・セミナー）、*Incentive travel*（報奨・招待旅行）、*Convention*（大会・学会・国際会議）、*Exhibition*（展示会・イベント・見本市）から頭文字を取ったビジネストラベルの形態を表す造語です。

MICEと聞くと、大規模な国際会議のイメージがありますが、**M**や**I**は、主に企業が行う会議や報奨・研修旅行のことを指します。

坐禅で己と向き合ったり、茶の湯の精神を採り入れたり、
代々伝わる匠の技に心打たれたり……。

長い歴史を有する京都には、古来より培われてきた文化資産が豊富に残っています。
これを活用することで、より深く、より独特な**MI**を開催できるのではないのでしょうか。

伝統と革新が今も息づく京都の魅力をビジネスシーンに採り入れ、
人、物、知識の交流や人材育成、職場環境の改善やスキルアップにお役立てください。



京都の文化を肌で感じる こんな研修あんな体験

京都には、
神社仏閣での礼法や作法にはじまり、食やものづくりなど、
長い年月で育まれた伝統文化が息づいています。
これら奥深い京都の文化に触れる体験を、
研修や観光に採り入れてみてはいかがでしょうか。



香



江戸時代から続く老舗で お線香の製造工程を見学

江戸時代の中期から続くお香の老舗「香老舗松栄堂」で、
お線香の製造工程を見学できます。職人たちが守り続けてきた
昔ながらの製法や、原材料の展示などをご覧ください。

香老舗 松栄堂

〒604-0857 京都市中京区烏丸通二条上ル東側
TEL.075-212-5591 FAX.075-212-5596
<http://www.shoyeido.co.jp/>

茶



本格的な茶室での体験で お茶の楽しみを堪能する

茶室や立礼棚のあるゆったりと心落ち着く空間で抹茶体験。
にじり口のくぐりかたや床の間での振る舞いなど、お茶席での
作法や、正しい抹茶の点てかたを学びます。

福寿園 京都本店

〒600-8005 京都市下京区四条通富小路角
TEL.075-221-6170 FAX.075-221-6150
<http://www.fukujuen-kyotohonten.com/>

スポーツ感覚で 和太鼓を楽しむ

全身の力を込めてバチを叩くと、音と振動が全身に響く、和太鼓の
演奏を体験できます。スポーツ感覚で楽しむだけでなく、演奏を
通じてチームワークや絆を強くすることも目的としています。

叩



TAIKO-LAB 太鼓センター京都本社

〒600-8387 京都市下京区高辻大宮町113-4
TEL.0120-923-915 FAX.0120-468-616
<http://www.taiko-center.co.jp/>

禅



朝の静かな境内で 己の内面と向き合う

京都最古の禅寺、建仁寺の塔頭「両足院」で坐禅を体験。朝の
澄みきった空気のなかで自分を見つめ直してみませんか。坐禅
終了後は、住職から法話をいただけます。

建仁寺 両足院

〒605-0811 京都市東山区大和大路通四条下る4丁目小松町591
TEL.075-561-3216 FAX.075-561-3270
<http://www.ryosokuin.com/>

染



伝統の技が詰まった 友禅染を体験

昔ながらの京町家の工房で友禅染の体験ができます。^{すりこみ}
「摺込友禅」や「型紙友禅」など、京友禅ならではの技法で、ハンカチや
風呂敷、浴衣やアロハシャツなどを作りましょう。

京友禅体験工房 丸益西村屋

〒604-8276 京都市中京区小川通御池南入ル
TEL.075-211-3273 FAX.075-221-1967
<http://www.marumasu-nishimuraya.co.jp/>

暮



伝統的な佇まいから 昔ながらの暮らしを見る

1869年に上棟された「表屋造り」の京町家を見学できます。
伝統的商家の佇まいをよく残しているとして、表家、玄関棟、
住居棟、土蔵が京都市有形文化財に登録されました。

京都秦家

〒600-8469 京都市下京区油小路仏光寺下ル太子山町594
TEL.075-351-2565 FAX.075-351-2565
<http://www.hata-ke.jp/>

朝型観光のススメ

歴史的な文化遺産や色づく風景など、京都にはさまざまな見どころがあります。
来訪者数が増え続けている昨今、
お越しになる皆様にゆっくりと過ごしていただきたい……。
そんな思いからご提案したいのが、京の朝を楽しむ「朝型観光」。
清々しい朝とともに坐禅をしたり野菜を収穫したりと、京都の日常を体験してみませんか。

オススメ 1 京都密着・市民の息づかいを感じる

湯葉、豆腐などは京料理を代表する食材です。老舗の湯葉、豆腐店でその製造工程を見学。見学後はお話を伺いながら、できたての豆腐や湯葉を使った朝食をいただきます。



オススメ 2 朝の絶景を楽しんでリフレッシュ

朝の京都タワーにのぼって、市街はもちろん清水寺や知恩院、東寺など、日本を代表する神社仏閣を一望。360度のパノラマを楽しんだあとは、地下にある大浴場でゆったりとリフレッシュできます。



オススメ 3 京の農家で野菜の収穫を体験

京の農家で、季節に応じた旬の野菜を収穫します。収穫でひと汗かいたあとは、採れたての京野菜をふんだんに使ったおばんざいをどうぞ。京都らしい朝の食生活を実感していただけます。



※写真はイメージです。

ユニークベニューのご利用

世界的に有名な歴史的建造物や文化施設を「ユニークベニュー」として会議やレセプションに利用できるのも、京都の魅力のひとつです。
参加する方々に驚きや感動を提供する演出など、地域特性を活かした催しにご活用ください。

京都国立博物館 平成知新館ロビー



元離宮二条城

国宝・重要文化財を有する二条城の格式や歴史的価値を存分に活用できる会場をご提供。日常では経験できない特別な空間を演出します。

〒604-8301
京都市中京区二条通堀川西入二条城町541
TEL.075-841-0096 FAX.075-802-6181
最大収容人数 400名
<http://www2.city.kyoto.lg.jp/bunshi/nijojo/>



醍醐寺

広大な境内にさまざまな歴史的建造物が点在する世界遺産。国宝や重要文化財が収容されている霊宝館では、フォーラムやコンサートなどが開催できます。

〒601-1325
京都市伏見区醍醐東大路町22
TEL.075-571-0002 FAX.075-571-0101
最大収容人数 1000名
<https://www.daigoji.or.jp/>



京都水族館

閉館後に貸切での利用が可能。夜のイルカパフォーマンスや、「大水槽」の前でのパーティーなど、京都水族館ならではの演出を楽しめます。

〒600-8835
京都市下京区観喜寺町35-1 (梅小路公園内)
TEL.075-354-3130 FAX.075-354-3170
最大収容人数 1500名
<http://www.kyoto-aquarium.com>



京都国立博物館

約120年の歴史を持つ博物館。2014年オープンの平成知新館は、世界的建築家・谷口吉生氏の設計。平成知新館ロビーでのレセプションなどにも対応しています。

〒605-0931
京都市東山区茶屋町527
TEL.075-531-7504 FAX.075-531-7719
最大収容人数 600名
<http://www.kyohaku.go.jp/>



京都鉄道博物館

「地域と歩む鉄道文化拠点」を掲げた、日本最大級の鉄道博物館です。蒸気機関車から新幹線まで53両を収容し、鉄道の歴史や進化を紹介しています。

〒600-8835
京都市下京区観喜寺町
TEL.075-323-7334 FAX.075-323-7354
最大収容人数 300名
<http://www.kyotorailwaymuseum.jp/>

詳しくは
京都文化交流コンベンション
ビューロー MICE課
までお問い合わせください。

TEL. 075-212-4140
(土日祝を除く平日 8:45~17:15)
e-mail. kyoto@hellokcb.or.jp
WEB. <https://meetkyoto.jp/>

企業の声

MIを実施した企業がどのような印象を持っているのか。観光や研修で京都を訪れた企業の担当者に伺いました。京都でMIを行うことのメリットや魅力をご覧いただき、貴社での活用をご検討ください。



Voice ①

京都らしい観光プログラムで お客様を笑顔に

弊社では2015年6月19日、流通店舗事業部門のお客様であるオーナー会会長様が一堂に会し、大阪本社で総会を行いました。総会終了後の翌6月20日、近隣の観光地である古都・京都に向かい、一日観光を実施しています。

坐禅や舞妓さんに京都を感じる

当日は朝の9時30分頃に左京区の光雲寺に到着。坐禅を体験して法話を聞いたのち、そのまま京都市街へと移動。京フレンチのランチを堪能できる「鮎鶴」では舞妓さんのサプライズ出演があり、あちらこちらで歓声があがっていたのが印象的です。午後は三十三間堂を拝観し、京つけものの「西利本店」や京都駅など、思い思いの場所でお買い物を楽しんでからのお開きとなりました。

全体を通して「京都らしさ」を前面に出したプログラムを採用したところ、お客様から喜んでいただき非常に満足度のいく旅となりました。

引率する立場として感じたことは、良い意味でどの施設も観光慣れしていることでしょうか。大型バスの駐車や団体を収容できる食事処の確保など、さまざまな手続きがスムーズに進みました。

より多くの観光客を迎えるための環境整備が進み、多彩なニーズに応える観光情報が発信されることで、MI実施候補地としての京都の需要はさらに高まっていくのではないのでしょうか。

流通店舗事業推進部 奥谷元宏 様



大和ハウス工業 株式会社

工業化住宅のパイオニアで、住宅・建設業界最大手。建築のみならずホテルやロボット事業など多角化を進める。海外にも積極的に進出。

本社所在地：大阪府大阪市北区梅田3丁目3番5号
MI実施時期 2015年6月20日

時期を問わず 京都の文化に触れて学べます

6月に弊社で開催する「年間最優秀ビューティーアドバイザー」の表彰後の懇親会を、昨年の下鴨神社や、京都を感じることで実施しております。そこでは懐石料理をいただいたり舞妓さんの踊りを見たりと、京都の文化に触れて学べる機会があり、その前後では、個人個人で京都観光を楽しんでいる従業員も多いようです。

また、本社が京都にあるため、全国のグループ会社の従業員は時期を問わず京都を訪れます。京都でMIを行うことは、弊社の発祥の地である京都を知り、感じるとともに、日本の歴史や伝統文化に触れる良い機会になると考えているので、今後も京都でのMIを実施したいと考えています。

ダイバーシティ・キャリア支援室 北竹康浩 様

株式会社 ワコール

婦人下着の販売で業界最大手の衣料品メーカー。「ワコール」や「ウイング」、「アンフィ」などのブランドを中心に事業を展開。

本社所在地：京都府京都市南区吉祥院中島町29番地
MI実施時期 2015年6月15日

Voice ③

貴重な体験を通じて 成長の機会につなげる

新入社員は4月の入社後、八幡市にある石清水八幡宮研修センターで合宿研修を行います。その間、参拝道の清掃を通じた奉仕活動や本殿での朝拝体験をしております。また、グループ発祥の地が京都であることから、グループ全体の新入社員合同研修も京都で実施しています。こちらでは嵐山の天龍寺に寝泊まりし、坐禅や清掃、禅寺作法による朝食などを体験し、自分自身と向き合う機会としています。禅寺ということもあり内容は厳しいかもしれませんが、曹源池庭園を臨みながら行う朝の坐禅は非常に清々しく、心がすーっと落ち着いていくのを感じます。

国宝や世界文化遺産の場所で研修を受けられるということはなかなか経験できるものではありません。会社の業務に携わるための知識的な研修だけではなく、貴重な体験を通じた成長にもつながる研修を今後も続けたいと考えています。

人事総務部 藤田俊之 様



株式会社 モリタ製作所

歯科用・耳鼻咽喉科用・産婦人科用・小動物用医療機器などを開発・製造し、世界に向けて販売するグローバルカンパニー。

本社所在地：京都府京都市伏見区東浜南町680番地
MI実施時期 例年4月

助成制度

京都で開催されるMICEを応援するため、京都文化交流コンベンションビューローではさまざまな助成制度を整えています。助成金の支援をはじめ、印刷物の無償提供や画像の貸し出しなど、お気軽にご相談ください。

中・小規模MICE開催支援助成金

中・小規模会議等の開催に要する経費を助成

- 対象** 企業ミーティング、インセンティブ、コンベンション
- 助成金額上限** 小規模：20万円
中規模：50万円
- 会期** 2日以上開催
- 参加人数** 小規模：50～199名
中規模（ミーティング、インセンティブ）：200名以上
（コンベンション）：200～499名
- 海外参加者要件** なし
- 申請時期** 開催年度



京都らしいMICE開催支援補助制度

舞などの文化プログラム、記念品ノベルティ製作に要する費用を補助

- 対象** 企業ミーティング、インセンティブ、コンベンション、同窓会（大学同窓会、企業OB会等）
- 対象経費詳細** ①式典やレセプション等における、舞、和太鼓、茶道、着物着付、鏡開き等の経費
②参加者に対して配布する伝統産業製品の購入費および工房見学、体験の経費
※①②併用可能
- 助成金額上限** 30万円
- 会期** 1日以上開催
※宿泊要件あり：参加者の7割が原則京都市内での宿泊を伴うこと。（同窓会除く）
- 参加人数** M・I・C：30名以上
同窓会：100名以上（うち京都市外在住者5割以上）
- 海外参加者要件** なし
- 申請時期** 開催年度



さまざまな支援メニューがあります

- 便利な京都観光地図、ガイドブックの無償提供
- プログラム等に活用できる京都の画像データの貸出
- 用途に合わせて使用可能な京都のPR映像の貸出
- プレゼンテーション資料の貸出
- ユニークベニュー会場のご案内

そのほかにも各種アドバイスやサポートを行っております。



※上記助成制度は、京都市が更なるMICE誘致を行うために実施している支援事業です。
※上記支援内容は、平成28年度の支援内容であり、平成29年度以降内容に変更が生じる可能性があります。
※各助成制度の詳細な内容や支援条件などは、京都文化交流コンベンションビューローまでお問い合わせください。

京都でのMICE開催や助成制度に関するご相談を受け付けております。



公益財団法人 京都文化交流コンベンションビューロー

〒604-0862 京都市中京区烏丸通夷川上ル 京都商工会議所ビル5階
TEL: 075-212-4140 (土日祝を除く平日8:45～17:15) e-mail: kyoto@hellokcb.or.jp
WEB: <https://meetkyoto.jp/>

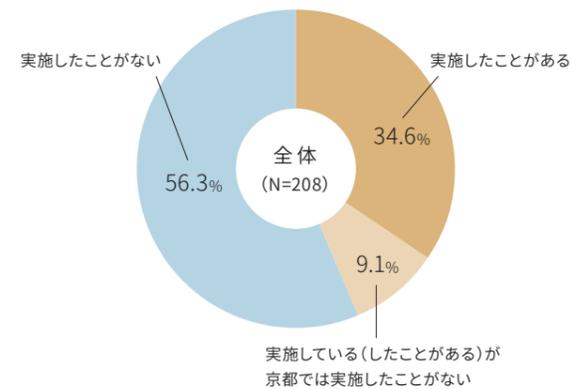
M(企業ミーティング)やI(インセンティブ旅行)等の実施状況調査結果

京都商工会議所では、MICEの中でも特に企業が行うM(企業ミーティング)とI(インセンティブ旅行)に関して、会員企業1363社にアンケートを実施しました。

調査対象：京都商工会議所会員企業1363社 回答企業数208社(回収率15.2%) 調査期間：平成26年10月下旬～11月下旬

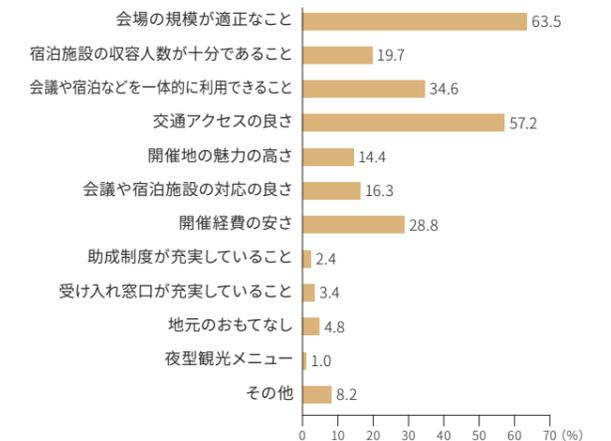
MIの実施状況

4割強の企業がMやIを実施したことがあり、そのうち京都で実施したことがある企業は34.6%。約6割の企業がMIを実施したことがないと回答。



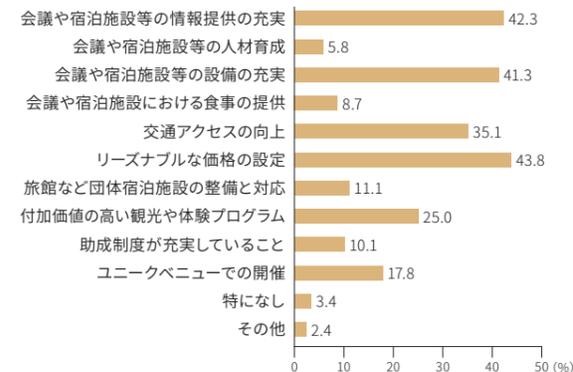
開催地の決定で重要視すること

開催地の決定で企業が重要視するのは、半数以上の企業が「会場の規模が適正なこと」と、「交通アクセスの良さ」。次いで「会議や宿泊などを一体的に利用できること」と「開催経費の安さ」を挙げている。



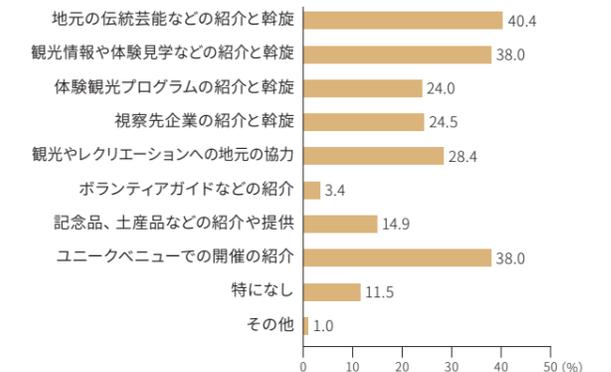
京都開催のために重要視する要素

京都でMIを開催するために重要視する要素としては、「リーズナブルな価格の設定」を始め、会議や宿泊施設に関する「情報提供の充実」や「設備の充実」が並んだ。



開催地に求める支援

企業がMIの開催地に求める支援としては、伝統芸能やアトラクション、ユニークベニューなどの「紹介や斡旋」など、情報の提供がもっとも求められている。



調査結果をふまえて

付加価値の高い観光コースや体験プログラムの充実、京都でのMI開催を促進するキャンペーンの考案など、関係機関と連携して受入体制の環境整備を図るとともに、ユニークベニューの紹介や斡旋、京都でMIを開催したことがない企業に対して積極的に働きかけるなど、情報発信力も高めていきます。